

スローライフ に生きる!

その5

明日死ぬと違って今日を生き 永遠に生きると思って学び続けよう



自然と暮らしと平和のがっこう「beart」主宰

後藤 彰 Goto Akira

いろいろと心がけて支出を減らして、現在の資本主義の仕組みの中にできるだけ入らないように意識しています。

今のこの社会の中で、「構造的な暴力」への関与を少しでも減らしたくてやっているんです。

もちろん、僕もまだまだ関与している部分があると思います。

それを、ストイックに「とにかくゼロにしよう」とは思っています。できるところから確実に減らしていければと思っています。

僕が主宰している学びの場、「自然と暮らしと平和のがっこう」は、後ろに「beart」と付けています。

大学院時代に勉強していた時に、フランス人の哲学者が、「絵画とか映画が芸術になるように、人の生き方が芸術にならないはずはない」ということを書いている本に出合っただけです。

その発想がすごくいいなと思って、生きること自体を芸術にしようと思っようになりました。

生きること自体が美しく、楽しくて、穏やかであっていいと思うんです。

実際に今、生きることが丸ごと、すごく楽しいです。

今、人生に挫折して希望を失い、自殺する人が増えていると聞きます。そんな現状に対して、「生きるこ

とってそんなものじゃないんじゃないか」という思いがすごく強いです。

一方、自分も自然の一部だという視点に立つと、人生を穏やかに見ることができると思います。

自然には、いろんな木があつて、鳥がいて、虫がいて、生き物がいますよ。本当に多様です。

生きるって、そういうことだと思っうんです。それを、自分でも実践しながら、人にも経験してもらえる場を作っています。

僕の生き方は、自分で言うのも何ですけど、極端な例だと思っています。

でも、今の社会のあり方というのは、既に終わりが見え始めています。だから、新しい別の生き方を探し出して実践していく以外にないと思っうんです。

今までの「構造的な暴力」の社会で生きていくよりも、自分が変わるから始めて、別の違う生き方をつくっていく。そのほうが自分も周りの人も絶対にハッピーになると思いますし、自然環境もハッピーになると思います。

ぜひ皆さんもそういう方向に意識を向けてみませんか。

もちろん、「こつしなきやいけない」なんてものはないので、それぞれのペースでやっていけばいいんです。意識していただきたいのは、「自

然をどう捉えるか」「生きることをどう捉えるか」「お金をどう捉えるか」ということです。

わずか200年の資本主義社会を当たり前とせず、違う生き方があるんじゃないかと思って生活してみるのは、学ばないかと思って生活してみるのは、学ばないかと思っ

大切なのは、学び続けることと、体験から学ぶことです。

「知識には三つの種類がある」という仏陀の教えがあります。

一つは、人から聞いた知識。これは人から聞いただけのものです。

二つ目は、自分が考えた知識。これも考えただけなので、本物ではありません。

三つ目が体験を通して得た知識。これは本物の知恵になり得るとおっしやっています。

本当にそうだと思います。

見聞きしただけでは腑に落ちないことも、実際に田んぼや畑に出て体験してみると、感じ取れることとっていつぱいあると思います。ぜひ、体験からの学びを得てください。ガンジーは「明日死ぬと思って、今日を生きなさい。そして、永遠に生きると思って学び続けなさい」と言っています。

僕はこのフレーズが大好きです。そんなふう生きていきたいと思っっています。

(宮崎市で開催されたお話し会より/終わり)